

神戸市感染症発生動向調査週報 … 第41週 (令和元年10月7日～令和元年10月13日)

2019/10/17作成 神戸市感染症情報センター

インフルエンザ (設置定点数:48/報告定点数:48 … 東灘区: 6 灘区: 3 中央区: 3 兵庫区: 3 北区: 8 長田区: 3 須磨区: 6 垂水区: 8 西区: 8)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6カ月	～12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳以上
インフルエンザ	↑	1	0	0	0	1	0	0	10	2	14	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	2	0	2	0	1	0	1	3	0

小児科 (設置定点数:31/報告定点数:31 … 東灘区: 4 灘区: 2 中央区: 2 兵庫区: 2 北区: 5 長田区: 2 須磨区: 4 垂水区: 5 西区: 5)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6カ月	～12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	↑	1	1	2	1	2	1	6	30	13	57	7	10	19	5	10	5	0	1	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	↑	2	0	0	0	0	2	3	6	3	16	1	0	4	1	0	2	1	3	1	0	1	1	0	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	2	0	0	0	8	2	1	4	9	26	0	0	0	1	1	3	3	3	3	5	2	3	0	2
感染性胃腸炎	↑	3	5	5	1	19	3	25	29	15	105	1	12	14	8	9	18	7	6	3	7	4	8	2	6
水痘	↑	1	1	1	0	1	1	0	1	1	7	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0
手足口病	↓	3	2	0	1	5	0	2	6	2	21	0	2	4	4	4	1	0	1	1	1	0	2	0	1
伝染性紅斑	↓	4	1	2	0	0	0	0	5	4	16	0	0	0	2	2	5	3	2	1	0	1	0	0	0
突発性発しん	↓	0	0	1	0	0	0	0	1	4	6	0	1	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	↑	5	1	0	1	1	1	1	1	0	11	0	1	4	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1
流行性耳下腺炎	↑	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0

<基幹定点からの報告>

- 無菌性髄膜炎4例：生後13日 女、生後17日 男、0歳0か月 男、0歳1か月 女、2歳 男
- マイコプラズマ肺炎3例：6歳 男、13歳 女、15歳 男

眼科 (設置定点数:10/報告定点数:10 … 東灘区: 1 灘区: 1 中央区: 1 兵庫区: 1 北区: 1 長田区: 1 須磨区: 1 垂水区: 1 西区: 2)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6カ月	～12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	↑	1	0	2	1	1	3	0	4	1	13	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	6	2	0	1	0

インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報(※A型およびB型とは、重感染、混合感染患者の数)

※前週比とは定点あたりの報告数を比較し、今週の定点あたりの報告数の増減をあらわしたものです。

A型	B型	A型およびB型 ※
12	2	0

今週、薬剤耐性菌のひとつであるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の届出が1例ありました。また、第39週(9月23日～9月29日)に届出のあった2例について、医療機関から菌株を分与いただき、環境保健研究所で検査を実施したところ、それぞれ、βラクタマーゼ産生のIMP1とIMP6でした。今、世界中で薬剤耐性菌が増加しています。薬剤耐性(AMR)とは、特定の種類の抗菌薬が効きにくくなるまたは、効かなくなることです。薬剤耐性をもつ菌が増えると、感染症の予防や治療が困難になります。原因は様々ですが、不適切な抗菌薬の処方や患者の判断で症状が軽減したため、服用を止めたり、量を減らして服用するなどの使い方をすることにより薬剤耐性を生じることがあります。医療機関を受診する際は、症状を詳しく伝え、医師の指示通りに抗生物質・抗菌薬の量と期間を守って服用しましょう。

<定点医療機関からの報告>

- 東灘区○アデノウイルス感染症2例：0歳9か月 男
- 北区○マイコプラズマ感染症1例：7歳 男
- 垂水区○ノロウイルス感染症1例：2歳 男
- 西区○ノロウイルス感染症1例：1歳 女

全数報告 報告明細(2019-10-07~2019-10-13)

No	性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病名	病型	診断方法(検査方法)	症状	推定感染原因	備考
1	女	9	2019/10/6	2019/10/8	2019/10/10	腸管出血性大腸菌感染症	O157 VT2	・分離・同定による病原体の検出	腹痛、水様性下痢、血便	不明	-
2	女	79	不明	2019/10/5	2019/10/9	アメーバ赤痢	腸管及び腸管外アメーバ症	・鏡検による病原体の検出(その他(膿瘍液))	下痢、肝膿瘍	不明	-
3	女	72	2019/9/29	2019/9/29	2019/10/2	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	Klebsiella aerogenes	・分離・同定による腸内細菌科細菌の検出(血液) ・分離菌の薬剤耐性の確認	敗血症、胆管炎	その他 (抗生剤使用による耐性出現)	-
4	女	63	2019/9/23	2019/9/26	2019/9/27	侵襲性肺炎球菌感染症	血清型未実施	・分離・同定による病原体の検出(髄液、血液)	頭痛、意識障害、髄膜炎、菌血症	不明	ワクチン接種歴なし
5	男	79	不明	2019/10/4	2019/10/5	侵襲性肺炎球菌感染症	血清型未実施	・分離・同定による病原体の検出(その他(胸水))	肺炎	不明	ワクチン接種歴不明
6	男	8	2019/9/26	2019/10/3	2019/10/5	百日咳	-	・検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	夜間の咳き込み	不明	ワクチン接種歴あり (4回)
7	女	7	2019/9/25	2019/9/27	2019/10/8	百日咳	-	・検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	持続する咳、夜間の咳き込み、スタックカート	不明	ワクチン接種歴あり (4回)

百日咳の届出に関しては、国立感染症研究所の「感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)」に掲載されている基準に基づいて受理をしています。医療機関において単一血清で抗体価を測定された際には、届出基準に合致しているかの確認をお願いいたします。

[リンク先: 感染症法に基づく医師届出ガイドライン\(初版\)](#)

第41週の結核届出患者数は5人(うち潜在性結核感染症1人)です。

病原体検出状況 - 集計データ(病原体分離・検出情報)・・・ 第41週 (令和元年10月7日～令和元年10月13日)

病原体	検体	届出区	性別	年齢	検体採取日	発熱温度	診断名	備考
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	分離株	兵庫区	男	28歳	2019/09/12	-	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	Klebsiella aerogenes, IMP1 β-ラクタマーゼ陽性、SHV型 β-ラクタマーゼ陽性
コクサッキーウイルスA16型	唾液	兵庫区	男	5歳 2か月	2019/09/25	発熱なし	手足口病	-
パレコウイルス3型	咽頭ぬぐい液、便	中央区	男	0歳	2019/09/06	38.5℃	無菌性髄膜炎	日齢18
パレコウイルス3型	髄液、咽頭ぬぐい液、便	中央区	女	0歳	2019/09/05	40℃	無菌性髄膜炎	日齢25
A型インフルエンザウイルス(H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	中央区	男	6歳 11か月	2019/09/17	37.6℃	インフルエンザ	ワクチン未接種
A型インフルエンザウイルス(H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	中央区	男	2歳	2019/09/24	39.5℃	インフルエンザ	ワクチン未接種
A型インフルエンザウイルス(H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	須磨区	男	25歳	2019/09/19	38.5℃	インフルエンザ	ワクチン接種済み
B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)	鼻腔ぬぐい液	西区	男	15歳	2019/09/15	38℃台℃	インフルエンザ	ワクチン未接種
RSウイルス	鼻腔ぬぐい液	西区	男	1歳 2か月	2019/10/02	37.5℃	RSウイルス感染症	-
RSウイルス	鼻腔ぬぐい液	西区	女	1歳 9か月	2019/10/01	39℃	RSウイルス感染症	-
アデノウイルス3型	咽頭ぬぐい液	須磨区	男	6歳 2か月	2019/09/30	40℃	咽頭結膜熱	-
アデノウイルス3型	咽頭ぬぐい液	東灘区	女	7歳	2019/09/24	39℃	咽頭結膜熱	-